



ひがしにほん だいしんさい

東日本大震災 がんばろう 日本 がんばろう 東日本

ふじさわ

おうえん

みんなの 藤沢も、いっぱい 応援しています！

がっ にち お ひがしにほん だいしんさい おお かた な いえ なが
3月11日に起きた 東日本大震災では、多くの 方が 亡くなったり、家を 流されてしまっ
た、大変な 被害が 出ました。

くる ひと たす ふじさわし ひと おうえん
苦しんでいる 人を 助けるために、藤沢市でもいろいろな 人が 応援をしています。

き も とど

みんなの 気持ちを 届けました

きゅうえん ぶっし おく

◎ 救援物資を 送りました

もうふ かんでんち ひなんじょ
オムツや 毛布、乾電池など、避難所の
暮らしに 必要なものを 家から 持ってきて
もらいました。集められた 物はきれいに
せいり だん ばこ ひさいち
整理し、段ボール 箱につめて 被災地へ
おく
送りました。



みんなの「がんばってください」という 気持ち
を 伝えるために、自転車や 野菜も 届け
ました。



じてんしゃ も ゆし わ
自転車は、持ち主が分からなくなっていたものを
ピカピカにして 送ったんだよ。自転車もきっと喜んで
るね



◎ 義援金が集まりました

さいがい ひと たす つか
災害にあった人を助けるために使う
かね ぎえんきん
お金を「義援金」といいます。
ほきんばこ みな い かね
募金箱に皆さんが入れてくれたお金
や、市内の会社などから市役所に届け
られたお金を、直接持っていったり
にほんせきじゅうじしゃ つう ひさいち きふ
日本赤十字社などを通じて被災地に寄付
したりしています。



◎ 公共施設が避難所になりました

じぶん いえ す ひと いしなざかおんすい りよう いちじていし
自分の家に住むことができなくなってしまった人のために、石名坂温水プールの利用を一時停止し、
ひなんじょ つか
避難所として使ってもらっていました。



げんき　だ　ひなんじょ　かべ
元気を　出してもらるように、避難所の　壁に
ふじさわそうこうこう　にい　ねえ　か
藤沢総合高校のお　兄さんお　姉さんが　書いたメッセー
ジをはったのよ



いろいろな 職業の 人が 助けに 行きました

しょうぼうし ◎ 消防士さん

じしん　お　ひ　ゆうがた
地震が　起きたその　日の　夕方、すぐに
ひさいち　い　つなみ
被災地へ　行きました。津波で
かいがんちいきいったい　いえ　たてもの　なが
海岸地域一帯の　家や　建物などが　流さ
れてしまった　せんたいし　みやぎのく　げんぱつじこ
によって　避難が　必要となった　福島県内な
どで、住民の　方々が　一日でも　早く元
の　せいかつ　おお　しょうぼうし
生活ができるように　多くの　消防士さん
が　はたら
働きました。





しみんびょういん いしゃ
 ◎ 市民病院のお 医者さん・
 かんごし
 看護師さんたち

いしゃ かんごし
 お 医者さんをはじめ、 看護師さん、
 やくざいし りんしょうけんさぎし ひさいち
 薬剤師さん、 臨床検査技師さんが 被災地
 びょういん かんじゃ たす い
 の 病院へ 患者さんを 助けに 行きました。
 じしん お あと みず でんき
 た。地震が 起きたすぐ 後、 水や 電気が
 なか びょうき ひと
 あまりない 中で、 ケガや 病気の 人のため
 はたら
 に 働きました。



ぜんこく しょうぼうしょ びょういん おお さいがい お とき
 全国の 消防署や 病院は、 大きな 災害が 起こった 時
 たす あ やくそく か
 に 助け 合う 約束をしているんだよ。 いつでもすぐ 駆けつ
 ひころ くんれん
 けられるように、 日頃から 訓練をしているんだって！ すご
 いね

し しょくいん ひさいち い
 このほかにも、 市のいろいろな 職員さんが 被災地に行
 どうほく はたら
 って、 東北のみんなのために 働いたのよ



ボランティアに行った人のおはなし

仕事や学校のお休みを使って、自分たちの意志で、ボランティアとして被災地のために働いた人たちもたくさんいます。

◎ 医師・酒井さんのお話

避難所の診療所で現地のお医者さんの代わりに診察をしたり、家に残り残されてしまったお年寄りのために往診に行ったりしました。

避難所には、悲しい思いをしている子ども達がいっぱいいます。だけど藤沢の名物「片瀬こま」をあげたら、藤沢のみんなと同じように笑顔で遊んでくれましたよ！



◎ 美容師・川部さんのお話

美容師の仲間でグループを作って、「髪を切って、サッパリとした気分になってもらおう！」と避難所でボランティアをしています。

カットしている間に、被災者の方ひとりひとりいろいろな話をします。お話を聞いていくことで、少しでも気持ちが楽になってくれればうれしいな、と思っています。

みんなができることを かんがえてみよう！

せっでん
節電する

じしん えいきよ つか でんき りよ すく
地震の 影響で、使える 電気の 量がいつもよりも 少
なくなっています。しかし、じしん いえ
地震でこわれてしまった 家や
こうじょ なお でんき ひつよう
工場などを 直すためには、たくさんの 電気が 必要です。



たいせつ でんき つか でんき つか
大切な 電気をみんなのために 使えるように、電気のムダ 使いはやめましょ
う。



さんか
チャリティーのイベントなどに 参加する

なまえ ことば
名前に「チャリティー」という 言葉が入っているイベント
さんか ひさいち おうえん
に参加することは、被災地を 応援することにつながりま
す。

ぼきん
おこづかいで 募金してみましょう。

じしん べんきよ
地震について 勉強をする

じしん かな おも ひと おお
地震で 悲しい 思いをした 人たちの 多くは、「この
じしん わす
地震のことを、みんなにいつまでも 忘れないでほしい！」と
おも
思っているそうです。



みんなの ちか かつどう さんか おとな
みんなの 近くにボランティア 活動などに 参加した 大人がいたら
ひばいほんたいしんさい はなし き ほん しんぶん よ しょうらい
東日本大震災についてお 話を 聞いたり、本や 新聞 読んだりして、将来ど
んなことができるかを かんがえてみましょう。